



2004 年 5 月 1 日発行
 発行人：堺 充廣
 発行所：神戸市中央区海岸通 8
 神港ビルヂング 5 階 509
 TEL/FAX：078-393-0050
 (TEL・FAX と同じ番号です。)
 E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp
 URL：<http://www.kobekeio.org/>
 編集：堀 友子・八巻 啓郎

～ 4 月例会報告 ～

王鞍 延子(平4文・12経)

今回は、榎尾観蔵さんのとても身近で、考えさせられるお話でした。

テーマは「老人福祉問題」、大切な事は二点あったように思います。

まず一つは、何でもやるという精神の大切さであり、二つ目は、介護老人保健施設の現状であります。

最初の件については、長年ホテルという資格保持者が少ない職場にお勤めになり、定年退職後介護施設という従業員の殆んどが資格保持者という職場での9ヶ月お勤めのご体験から、現在のお考えとして、どちらの職場においても、「何でもやるという精神」、すなわち「雑用をやりませんといわない精神」が大切であるとお話になりました。

次の件については、ご自身が事務局長をされている介護老人保健施設ケアヴィラ伊丹のお話を中心に、2000年4月からの介護保険で成り立つ施設の重要性について述べられました。もし、これらの施設が無い場合には、親族の介護は、自分たち家族が看るか、あるいは、有料施設に入所するしかないが、介護施設のおかげで堂々と給付を権利として受けることができるようになったのだとのことです。しかしながら、財政的問題が生じはじめており、申し込み増加に対して審査が厳しくなっているとのことです。

以上二つのことを中心に、施設における細か

い介護の仕方や、実際の夫々の介護に応じての費用の額や、施設における個人の状態に適した設備の事など具体例を示しながらお話してくださいました。

高齢者に足を一步踏み入れかけている私にとりまして、とても貴重で有意義なお話を聞かせていただきましたことを感謝いたしております。

慶早ゴルフコンペ報告

4月6日(火) 慶早ゴルフコンペが廣野ゴルフ倶楽部にて開催されました。

神戸早稲田倶楽部より木下会長をはじめ5名の参加を頂き、当倶楽部からは15名が参加し、絶好のコンディションのなか、プレーと懇親会で大いに盛り上がりました。

東京より芳川さんの妹さんの関口絢子さんが参加され、早稲田からの強い要望で強力助っ人として早稲田側に入られました。

対抗競技は各倶楽部の上位5名によるネット合計で競われ、結果は僅差で神戸慶應倶楽部が

勝利致しました。

個人戦では神戸早稲田倶楽部の木下会長が優勝され、2位は神戸早稲田倶楽部の弓削敏行さん、3位は神戸慶



應倶楽部の伊藤豊さんが入賞されました。出席者は以下の通りです。(森、上島、森本、芳川、佐井、伊藤(豊)、金城、山上、二上、堺、廣川、喜多村、近藤(剛)、関口(敬称略)、森本(泰)

記事：森本 泰暢(昭60法)

『関西勤務四十年』(四)

堀切 民喜(昭二十九経)

人生の岐路と新たな出会い

平成元年四月、関西経済同友会の代表幹事に就任し二期二年務めた。関西経済界では東京から訪れる政界や官界の首脳との懇談会を、同友会、関西連、大商、大銀協などの経済団体が共同で開催する習慣がある。そのため私は同友会の代表として関西連の宇野収会長や大商の佐治敬三会頭と同席する機会が多かった。

経済界の大先輩で貫禄十分なお二人に挟まれて若輩の私はうろたえるばかりであったが、そのような会合でいつも「東京一極集中の是正」をワンパターンで訴える私の書生つばさにお二人は目をつけられたのであろうか。

宇野さんからは、代表幹事を退任した平成三年春、第三次行革審の専門委員、関西連の行政制度委員会、大阪湾ベイエリア開発推進協議会の仕事にそれぞれ協力を求められた。佐治さんからは平成五年春、ご自身が会長を務め

ておられたFM放送会社「エフエム802(はちまるに)」の社長就任のお誘いがあった。

私は丁度その頃、長年務めた住友信託銀行を副会長を最後に退いたのでその後の人生はもっぱら関西経済界のこの二人の大先輩のお引き立てによるところが大きい。昨年六月から務めている「本州四国連絡橋公団」の仕事も元をたぐっていけば十年あまり前のこの頃に発しているのである。

慶應義塾という宝物

そしてさらに遡ると、その淵源は、第一回で述べたように五十年前に大学の千種ゼミで学んだマクロ経済学になる。

しかし慶應で学んだことは「国民所得論」のようなテクニカルなものだけだったのだらうか。この四月三日、私は卒業五十年ということで大学の入学式に招待され安西塾長の式辞を聴いてはつと

するものがあつた。

安西塾長のメッセージは在学中に「三つの宝物」を探せということであつた。三つの宝物とは良き師、良き友と出会いエネルギーを互いに与え合うこと、自由な環境の中で新しい自分(潜在能力)を発見すること、そしてこれらを通じて自分自身にとつての慶應という宝物を見つけ自らの血肉になるよう努力すること、およびそのような内容であつたと思う。

五十年前に慶應で身につけたことは単なる経済学の知識だけではなく、師友に恵まれ、思いを深め、心を耕し、慶應という宝物を私なりに見つけたということであり、このことはタイガージャージやワグネルの世界にも共通するのではないだらうか。慶應義塾に学んだ幸せをあらためて感じるこの頃である。

(終り)

堀切様、公務ご多忙の中での執筆ありがとうございました。今後益々のご活躍とご健康をお祈りいたします。(編集部)

会員だより

中国からの便り

井垣 誠一郎 (昭 58 法)

さて、私事ではありますが、中国に転勤いたしました。

「無錫松下電池有限公司」の名称で、上海から蘇州を通して車で2時間少しの無錫(むしゃく)という所にある製造会社です。他社に遅れながらも携帯、パソコン用のリチウムイオン二次電池事業を立ち上げることになり、その責任者で現地へ赴任しました。

事業の立上げがこれほど大変かと改めて認識させられましたが、決してこれからの事業の先行きもバラ色ではなく、大変重い気持ちの毎日です。

米国勤務 10 年の私としましては、転勤を言い渡された後もなかなか中国モードに切り替えるのに苦労して来ましたが、今や製造業にとって中国オペレーションを無視することもできませんし頑張るしかないのです。

正式赴任は 3 月で、それまでは出張対応で行ったり来たりしましたが、正式に Visa も取得し着任しました。

単身赴任でまさに仕事オンリーの生活ですが、仕事の後、かなりのレベルの日本飯が食べれること(やはり中国人はコピーがうまい!)、また中華も各地域の料理や火鍋やら結構食べれますので、アメリカの田舎よりはいいのではないかと自分を慰めてます。

また治安がいいのも安心です。中国も南部の方はポロポロらしいですが……。

課題はやはり中国語でしょうね。先日、かなり疲労感があったので盲人マッサージに行った後、ホテルまで一人で街中を歩きながら、言葉がわかれば中国は奥が深そうやなぁなどと考えていました。

日本出張は結構ありますので、そのチャンスにまた皆様とお会いできお話しできればこの上なく幸せと期待しております。またおもしろい話等がありましたら報告します。

取り急ぎ中国赴任のご連絡ご挨拶まで。

六甲山初登山

伊藤 協治 (昭 38 工)

久し振りに 2 月の例会に出席しまして木村俊光氏のバリトンの歌を聞いて、うっとりとした気分になりました。パーティーの席で藤田夫妻と一緒にになり、奥さんに「私は最近暇になりゴルフと散歩で 1 日を過しています」と云いましたら、奥さんは「山に登られたらどうですか」と云われ、まさか 64 才で体力も衰えて登れるだろうかと思いました。しかしゴルフも散歩も少しあきてきた所で、山にでも登ってみようかと思いたちました。翌日本屋に行き「六甲ハイキング」と六甲山の地図を買い、道順と大体の距離と時間を研究しました。本では阪急芦屋川から六甲山頂まで 3 時間 10 分となっており、これなら大丈夫と思ひ翌日登る決心しました。確か 2 月 21 日の天気の良い日で冬でも比較的暖かい日で、軽いリュックサックを背負い散歩用の靴を履き、朝 8 時に家を出て高座の滝へ向い 50 分で着きました。そこで滝を見ながら休憩をして、ロックガーデンを経由して風吹岩に向いました。所がこのロックガーデンは、名前の通り岩ばかりで登るのにくたびれてしまいました。しかし整備がよく、足場はしっかり出来ていて、一步一步ゆっくり階段を登るように登って行きました。途中鎖場やハシゴもあり私のような初心者でも何とか登れました。高座の滝から 50 分程登って風吹岩に着きました。風吹岩は標高 437m で眺めがよく芦屋、西宮、大阪湾がよく見えました。そこに三毛猫が 2 匹いたのにびっくり、よく人に慣れているらしく、おにぎりをやるとよく食べました。風吹岩から芦屋カントリー経由で雨ヶ峠へ向いましたが途中道標識はしっかりして道に迷うこともありませんでした。またこの山道は非常に気持ちよく自然の中を歩いて行く感じがしました。約 1 時間で雨ヶ峠に着き、そこで休憩して本庄橋跡に 20 分程で着き、そこでまた休憩して七曲りの道で六甲最高峰に向い本庄橋から約 1 時間位で六甲最高峰の三角点に着きました。

その時の感激と満足感は今でも忘れません。何か大きな仕事をやってのけたという気分です。後は魚屋道を落葉をふみながら緩やかな下りを、ゆ

っくり有馬へ向い、1時間20分程して有馬につきそこからバスに乗って家に帰った次第です。

約6時間少々かかりましたが約13kmの道をよく歩いたものだと思っています。私はこの日以来週に一度は同じ道で六甲山から有馬へ行っています。健康にもいいし、何よりも頭がカラッポになれて気分がいいです。皆さんも暇があったら是非登られたらいいと思います。私は当分この日帰り登山を楽しみます。

同好会だより

イーゼル会

今月の絵



(イーゼル会：井上 翠)

KKJC

垣屋 高文(昭39経)

私がジャズを聴き始めたのは、塾高1年の頃である。NHKのアナウンサーをしている明石勇君達と毎日渋谷のジャズ喫茶「DUET」で、コーヒー1杯で3時間位粘っていたものだ。大学に入ってからにはKKK(慶応軽音楽鑑賞会)でジャズに熱中した。

そんな私が関西に来たのは、震災の翌年の平成8

年。それ以来単身赴任の身軽さもあり、毎週ジャズバーやライブハウスを聴き歩いている。特に神戸のお店にはよく行っている。神戸は日本のジャズ発祥の地だけあって、店も多いし、ジャズの好きな客も多い。中でも「ソネ」にはよく行く。ボーカルを必ず入れて、わかり易いジャズに徹し、食事も結構美味しいのが受けてる訳か。特に値段が安く、ビール1杯で何時間粘っても1,650円で済む。私も東京、ニューヨーク、ヨーロッパのライブハウスは何軒も行ったが、こんな安い店はない。東京だと4千円はするし、ニューヨークの安い店でも20ドルはする。

3月18日この「ソネ」でKKJCの例会を開いた。演奏は古谷充カルテット。古谷は渡辺貞夫と並ぶ我国アルトサックスの名プレーヤーで、学生の頃東京で古谷充と渡辺貞夫のバトルを聴いたことがある。先輩が「古谷の方がうまいな」と言っていたのを憶えている。

当日は、ジャズのスタンダードを中心に演奏し、各ステージ後半2曲はこれも彼の得意なボーカルだった。我々は、コース料理に舌鼓を打ちながら、最高の演奏に手を打って楽しみ夜の更けるのを忘れていた。

当日出席者(卒年順)前田剛資・近藤正・垣屋高文・藤田也寸志・榎根みづえ・山崎えみ・横田洋子

PC同好会

浅沼 清之(昭36経)

パソコン同好会は、5名以上集まれば開催することになっていますが、4月26日(月)久しぶりに、7名のメンバーが、倶楽部ルームに集まりました。

私自身は、元来パソコンの類は苦手で、現職時代は最後まで人任せで済ませてしまい、リタイア後、友人から「メール連絡もできない相手とは、手間がかかって付き合えない」と脅迫され、ようやく昨年4月から、携帯電話とパソコンを持つようになったばかりのビギナーの一年生ですが、上級レベルの会員諸氏の親切なご指導のおかげで、少しずつパソコンの楽しさがわかって参りました。メールでの友人・子供・孫との交流や、インターネットからの情報収集、デジカメの写真をパソコ

ンに取り込んで送信する便利さがわかってくと、自分の世界が少し広がったように感じます。最近、老化防止のためにインターネットでの証券取引等も遊び心でチャレンジするようになりました。これからもできる範囲で活用の領域を広げて生きたいと願っています。同好会はこれから第二金曜日に開催されることになりましたので、皆様とのパソコンの話題中心の交流が広がることを期待しています。

ゴルフ同好会

～KLA との合同コンペのご案内～

恒例の KLA(関西婦人三田会)との合同コンペを開催しますので、皆さま奮ってご参加ください。初夏の一日楽しく白球を追いましょ。

日時：6月11日(金)

場所：神戸ロイヤルパインズゴルフ倶楽部
(中国自動車道・六甲北有料道路 神戸三田インターより車で3分) 全て乗用カートによるセルフプレイとなっております。

参加ご希望の方は、5月31日(月)までに事務局または幹事までお申し込みください。参加者には別途詳細をお知らせします。

幹事：近藤 正

ちょっと一言

市居 嘉雄(昭29 経)

著書『私のふるさと故事来歴文集』を発売しました。昨年の BRB 7月号～10月号の「社中の心」に連載の「神戸の鉄道史をたどれば」も集録しています。

高嶋 哲夫(昭48 工)

『都庁爆破』(宝島文庫)が、文庫化されました。過激な題名ですが、家族の愛情、友との友情を扱った、心温まる(???)お話です。現在の社会情勢にもつながるかも。僕も内容を忘れてて、少し読み直してみても、なるほどなあなどと・・・。

会員の輪

横尾 嘉昭会員より

永山 克彦(昭50 商)

よろしく！

昨年10月より入会させていただいております。大学時代はボウリング部に所属し、毎日麻雀とボウリングに明け暮れておりました。当時アルバイトで女子プロ一期生の中山律子さん(恐らくご存知の方は少ないと思いますが)のスコアー記入係としてテレビに出演(?)したこともあります。

学生時代のボウリングのベストスコアーは279点ですが、現在は150点を出すのがやっとの状態ですので、ボウリングのお誘いは残念ながら全てお断りすることにしております。

さて、塾卒業後は当時の日綿実業(旧：ニチメン、現：双日)に入社し、10年間の米国駐在(ヒューストン5年、ロスアンジェルス5年)を経て平成7年3月に退社、現在は先代の後を受けて、大阪は西区の四ツ橋筋本町界隈で“富士屋”という屋号で不動産賃貸業を営んでおります。

塾関係の団体としては、神戸慶應倶楽部以外に下記に所属しております。

大阪慶應倶楽部、芦屋三田会、関西不動産三田会(不束ながら、代表世話人を仰せつかっております)、関西食文化三田会(美味しいものをただひたすら食べる会です)、関西塾高会(塾高出身者が集まって飲んで食べて騒ぐ会です)、北三田会(北の新地で飲み食いする会です)、藤岡幸夫君(昭59年文)関西後援会(事務局を担当しています)、ボウリング三田会、もうこれ以上は身体も持ちませんし、会費も持ちません。

以上、不動産に関するご相談につきましては是非関西不動産三田会へ、また藤岡君が正指揮者をしている関西フィルハーモニー管弦楽団のコンサートのチケットについては後援会へお問い合わせ下さるようお願い致します。

今後色々な所でお会いする機会が有ると思いますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

～ 2004 年度総会のご案内 ～

日時：5月21日(金) 18:30より

会場：蘇州園

“**The Garden Oriental Soshuen**”

(旧・蘇州園) 阪急御影駅徒歩5分

Tel : 078 - 851 - 3182

会費：8,000円

総会資料として「2004年度総会議案書」を持
参ください。メール送信の会員には、4/28付の
倶楽部発信メールに添付しています。

～ 大阪慶應倶楽部からのお誘い～

牧野直隆氏(昭9経)講演会

演題：「野球人生80年」

日時：5月27日(木)19:00より

会場：ホテル阪神10階「クリスタルルーム」

会費：平6卒以前の会員 9,000円

平7卒以降の会員 6,000円

出席ご希望の方は、事務局または大阪慶應倶楽
部(Tel:06-6202-0516)にお申込みください。

新入会員紹介

～ 事務局よりお願い～

住所・電話番号・メールアドレスの変更は、事
務局にお知らせください。

皆さまどしどし原稿をお寄せください。
一言コメントなどのメモ書きも大歓迎です。
皆さんの投稿をお待ちしています。
「BRB」についてのご意見、ご感想もお聞かせ
ください。
堀 友子
八巻 晤郎

～ 今後の例会予定～

- 5月21日(金)2004年総会
- 6月25日(金)6月度例会
- 7月20日(木)大阪慶應倶楽部創立記念祝賀会
- 7月31日(土)7月度例会サマーパーティ
- 8月20日(金)納涼ビールパーティ
- 9月17日(金)9月度例会
- 10月15日(金)10月度例会
- 10月17日(日)2004年慶應連合三田会大会(日)
- 11月14日(日)関西合同三田会(京都)
- 12月18日(土)家族例会忘年会
- 1月5日(水)賀詞交歓会
- 1月10日(日)170回福澤諭吉先生誕生記念祝賀会
- 1月21日(金)1月度例会
- 2月24日(木)2月度例会
- 3月24日(木)3月度例会

詳細につきましては、BRB・メールマガジン
等でお知らせしますので、毎月ご覧ください。



編集後記

○表現の自由、言ったもん勝ちとは。
自己責任やはり大事ですよ。

五月晴れの青空に鯉のぼりが悠々と
泳ぐ、そんな環境の中で爽やかに過ご
したいものです。(ほ)

○四月例会、「老人福祉問題」の講話は
王鞍さんが報告されていますが、櫻尾
さんのソフトで優しい語り口で説明さ
れると安心感も手伝って、制度、現状
そして心構えがよく分かりました。

六甲山を歩く楽しさを伊藤さんが書
いて下さいました。大阪湾を見下ろし
ながら青嵐に吹かれて歩く心地よさを
是非体験しましょう。(晤)